

豊富なプログラムで発達改善

障害児通所支援事業所

湊に「カズライフサポート」開設

発達障害や知的障害

の子どものための福祉施設「カズライフサポート」放課後等デイサービス(木村和広代表)が、このほど石巻市湊立石にオープンした。県指定の障害児通所支援事業所で、市内でも珍しい60種類以上に及ぶ豊富な療育プログラムがある。小学生を中心に子どもたちが利用しており、楽しみながらソーシャルスキルを身に付けている。



大画面をタッチすることで社会技能の習得を目指すプロジェクト

や保育園の誘致などを行っていた。人生の転機となったのは東日本大震災で、激変した古里の風景をテレビなどで目の当たりにした。すぐに会社にあつたトラックを借り、さまざまな人から預かった支援物資を詰め込んで、1週間後には駆けつけた。

もっと石巻のために何かしたいとの思いが湧き上がり、石巻と関東を行き来しながら子ども対象の福祉施設開設の準備を進めた。昨年、県のスタートアップ加速化支援事業に採

択され、公益財団法人宮城産業振興機構の助成を受けて2月にオープンした。

家族と地域社会のつなぎ役に



木村代表(中央)とスタッフの皆さん

対象は小学生以上で高校生まで。施設内には、80センチの大画面をタッチしながら、遊びや運動を通して社会技能を身につけるプロジェクト。ジェスチャーや、デジタル認知テストで個人の得意・不得意を分析し、長期にわたる成長記録も残せる脳バランスがある。いずれも石巻地方で初めて導入された。

また、キッズヨガや牧山への散策など運動を伴うプログラムも多彩に用意。教育関係の経験が豊富なスタッフがそろい、工作やダンスなど個々の趣味や特性もプログラムに反映

している。元特別支援学校教諭で「生涯発達支援塾T.A.N.E」の櫻井育子代表から専門的アドバイスも受けている。

内覧会を定期的に実施しており、17、18日も予定。木村さんは「まずは多くの人にサービスの存在を知ってもらうこと。気軽に内覧会に来ていただければ」と話していた。17日は午前10時～午後4時(要予約)。18日は予約不要で午前10時～午後6時。問合せは同施設(☎90-4648)。